

八百津町告示第76号の2

パブリックコメントの回答について

住民の方から寄せられた意見の概要とそれに対する町の考え方及び最終案は下記のとおりです。

令和 2年10月13日

八百津町長 金子 政則

- (1) 募集案件 「みのかも定住自立圏第3次共生ビジョン（案）」及び「定住自立圏の形成に関する協定書」
- (2) 募集期間 令和2年9月1日～令和2年9月30日
- (3) 意見提出数 1件

意見の概要	意見に対する考え方
P8の基本方針の第1次、第2次に共通した課題として「構成・連携市町村の取り組みへの温度差」とあります。しかしながらその点について解決する方針等の文言が見つかりません。1次の課題を2次で解決できていないことは3次で重点取り組み課題としないと第3次でも同様の課題が発生します。それでは課題解決手法として疑問に感じます。その点についてご意見と求めます。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり課題解決のための方針等は記載しておりません。それぞれの事業によって市町村間で温度差があることは事業の進行や効果に大きく影響を及ぼすと考えております。今後の対策として、連携市町村間での綿密な意見交換等によりそれぞれの市町村がより意欲的、効果的に事業に取り組めるよう調整を行ってまいります。
P16「重点事業6 圏域公共交通・・・」とP18「基本事業1 里山再生・・・」は八百津町にとって関連があり、課題でもありますが、連携市町村になっていない理由をお聞かせください。	ご意見ありがとうございます。 「圏域公共交通網の整備事業」は、東濃鉄道(株)が運行する美濃太田路線が長年の赤字運行により廃線の意向が出されています。圏域連携は更に図っていかねばならないところではありますが、公共交通の連携としては、現在圏域をつなぐ公共交通が八百津町単独での運行負担となることが想定されます。そのため、現状の美濃太田路線の存続協議を継続して、新たな美濃太田路線の形態が確定した後の、令和4年度以降で、連携が行えるように圏域市町村とも協議を継続していき

	<p>ます。</p> <p>「里山再生プロジェクト事業」は、岐阜県の森林環境税基金事業の一つである里山林整備事業（不要木・危険木の除去や侵入林の除去等を実施）の補完的事業であります。里山林整備事業自体は、その区域を業務区域とする森林組合に委託されており、当該連携市町村を業務区域とする可茂森林組合が受託しております。当町では、それを八百津町森林組合に委託しております。また、関連する啓発事業（環境フェア等）についても、別事業になりますがキリンビール㈱と連携した「キリン木曾川水源の森づくり事業」を実施しており、八百津町内外の住民に参加いただいております。</p> <p>このように類似事業を継続実施している経緯もあり、この事業につきましては、連携市町村とはなっておりません。ご理解をいただきたいと思っております。</p>
--	--

(4) 最終案 別添